

最後の全日本教員バスケットボール大会 京都教員男子が有終の美を飾る！

2018 年 8 月 7～10 日、茨城県日立市・水戸市で第 56 回男子・第 48 回女子全日本教員バスケットボール選手権大会が開催され、京都教員男子が 24 年ぶり 5 回目の優勝を果たしました。



毎年国体リハーサル大会を兼ねて行われていたこの大会は、教員連盟が解散し社会人連盟に統合されたことにより、今回を最後に大会は終了することになりました。男子は、第 1 回大会の 3 位を皮切りに、優勝 5 回、2 位 3 回、3 位 3 回と歴史を重ねてきました。優勝報告会では、初優勝した第 27 回（1989 年）の写真も飾られ、出席した往年の選手も懐かしく語り合っていました。



女子は残念ながら 2 回戦で敗れましたが、第 1 回大会 3 位をはじめ、第 3 回優勝、2 位 2 回、3 位 11 回と、大会の 3 分の 1 近くが上位入賞という輝かしい戦績を残しました。

男女とも今後は社会人連盟の一員として活躍されることを大いに期待したいと思います。

【男子結果】

2 回戦	72 - 58	みどりクラブ A
3 回戦	93 - 33	北籠倶楽部
4 回戦	78 - 60	大阪教員
準決勝	84 - 71	福島教員 A
決 勝	98 - 62	静岡教員 A

【女子結果】

2 回戦	75 - 76	新潟教員女子
------	---------	--------

福井国体 少年男子 3 位



第 73 回福井しあわせ元気国体を振り返って
今年の少年男子チームが掲げた目標は「3 連覇」。先輩たちが続けたきた伝統を止めないようにとプレッシャーも大きく、また全県出場の年ということもあり厳しい予選を戦う緊張感を経験せずに本番を迎えることになりました。しかし、東山、洛南、鳥羽の近畿大会でも上位に入る 3 チームから選抜されたチームは例年通りレベルが高く、本戦で試合を経験させながら完成させていくように心がけました。



初戦の鳥取県、2 回戦の山梨県としっかりと京都らしさを見せつけて勝つことができたので期待が高まりました。3 回戦の長野県はインターハイでベスト 4 に入った東海大諏訪高校を中心とした非常にまとまったチームと対戦しましたが、95 - 85 でしっかりと勝ち切りました。続く準々決勝の東京都とはダブルヘッダーということもあり疲れもありましたが、京都のチーム力でカバーして 97 - 91 で準決勝に駒を進めました。

そして準決勝の愛知県。あと 2 つ勝てば目標にしていた「3 連覇」でしたが、出足から愛知県の中心選手に外角のシュートを決められリズムを崩されました。何とか食らいついて戦いましたが出足の点差が縮まらず敗れました。

目標に掲げた「3 連覇」は達成できませんでしたが選手は本当によく戦い、最後まで諦めず「3 連覇」を目指して努力してくれました。彼らとこの国体を戦えたことを心から誇りに思います。今後の選手たちの活躍にもぜひ期待してください。

最後になりましたが、沢山の応援をいただき、現地まで駆けつけていただいた関係者の皆様にも心より感謝申し上げます。

全中 京都精華学園中学男子 3位

京都精華学園中学校 奥田 翔
創部3年目にして、初の全国大会出場となりました。1年目の夏は1回戦で負け、2年目は近畿大会4位と、あと一歩手が届かず、2年間選手たちは悔しい思いをしてきました。迎えた今年、掲げた目標は「日本一になる」でした。誰一人中学校の全国大会に出場したメンバーはおらず、常に挑戦者の気持ちを持って戦った選手たちを誇りに思います。全国大会では、キャプテンは手首を骨折しながらプレーし、スターティングメンバーの2人は準決勝で負傷離脱という、満身創痍の中、素晴らしいプレーをコート上で表現してくれました。残念ながら準決勝で敗退し、目標に掲げていた「日本一」にはなれませんが、このチームは見ている人の「心を動かすチーム」だと思います。3年生には、3年間指導させていただいたことに感謝し、次のステージでは、「日本一」になっていただきたいと思っています。1・2年生には今年の壁を越えられるように今後も頑張ってもらいたいです。また、保護者の方々や、京都の先生方の応援は私や選手たちにすごくパワーを与えていただきました。本当に応援ありがとうございました。

ウィンターカップ2018

東山：2回戦で優勝の福岡第一に敗退
京都精華学園：ベスト8

2018年12月23日から28日にかけて東京都の武蔵野の森総合スポーツプラザに於いてSoftBankウィンターカップ2018、平成30年度第71回全国高等学校バスケットボール選手権大会が開催されました。

男子の東山は2回戦で福岡第一と対戦しました。福岡第一は優勝し、東山は残念ながら組み合わせに恵まれませんでした。

女子の京都精華学園も優勝した岐阜女子に敗れましたが、女子の京都勢初ベスト8に輝きました。

大会前にそれぞれのチームからいただいたコメントを掲載します。

【東山高校】

11月10日にハンナリーズアリーナでBリーグの前座試合として初めてウィンターカップ京都府予選が行われました。会場の雰囲気など高校生の試合では味わえないような体験をさせていただき感謝しております。

去年はウィンターカップに出場できず悔しい思いをしたこともあり、生徒たちも私もこの試合に懸ける想いは非常に強かったと思います。

試合は第1ピリオドからうちのペースで試合を運ぶことができ、前半をリードして後半を迎えました。ハーフタイムでも選手同士が声を掛け合い、後半に向けても安心して試合を運べると実感していました。後半も自分たちのスタイルを貫きしっかりと勝つことができました。

ウィンターカップは高校生にとって最後の日本一を決める大会です。この大会に出場できる喜びをコートでしっかりと表現し、1つでも多く勝ち上がり、京都のレベルの高さを証明できるように頑張りたいと思います。また、3年生と戦う最後の大会をしっかりと目に焼き付けながら試合を楽しみたいと思います。



【京都精華学園】

3年連続8回目のウィンターカップへの挑戦をさせていただくことになりました。大変ありがたく光栄に思っています。過去何度も挑戦をさせていただいておりますが、どのチームも3年生にとっては高校生活最後の大会となり、最強のチームを完成させて臨んでいます。さればこそ私たち京都代表チームとしての誇りを持って、堂々と全国で戦っていきたくと思っています。今年のチームは今まで以上に選手層も厚く、全国大会ではいつも高さに悩まされていましたが、ある程度高さのある選手がおり、日本代表の高橋未来選手を軸に全国で戦う準備は整ったと思っています。しかし、全国には強豪校も数多くあり最初から厳しい戦いが待っていると覚悟しています。今回の京都府予選大会の決勝戦では、高校3年生は十分に力が発揮できなかったことを悔しく感じており、全国ではその思いをもってしっかりと活躍してくれると確信しています。

全力を尽くします。応援をして頂きますよう宜しくお願い致します。



綾部市で北部カーニバル開催

2018年8月4日、綾部市総合運動公園体育館において北部カーニバルを開催しました。

綾部市の小中学生チーム対象のハンナリーズクリニックを行い、午後には3×3北部カーニバル体験ゲームを行いました。



©KBA

3×3バスケットボールは東京オリンピック正式競技に決定し日本代表チームも優勝の可能性が期待される競技であり、京都府協会においても府下全域への普及を目指しています。今回の北部カーニバルでは、3×3部の畑中慎一郎競技委員長から講義方法の説明があり、その後綾部市・福知山市の高校生以上のチームが参加し、体験ゲームを行いました。

初めて体験するチームがほとんどで、始めはぎこちない動きでしたが、次第に慣れて激しいゲームが展開されました。

まだまだ3×3経験者が少ないので、協会では普及する機会を増やし情報発信に取り組みます。



©KBA

府民総体2次大会 舞鶴市で開催

2018年11月17～18日、舞鶴文化公園体育館において第41回京都府民総体バスケットボール競技2次大会を開催しました。

1次大会を勝ち抜いた6チームと開催地舞鶴市のチーム及び前回優勝の男子京田辺市、女子京都市が参加し男女それぞれ8チームで優勝を争いました。

白熱したゲームが展開され、男子は京田辺市が2連覇し、女子は22年連覇していた京都市に勝利した城陽市が初優勝しました。



©KBA

バスケット専門店B.ballは
バスケットが大好きな皆様の為に
バスケットが大好きなスタッフが
作り出す
バスケットがいっぱいあったお店です。
バスケットのことなら、なんでもご相談ください★STAFF一同お待ちしております！

B.Ball 京都店
CAGERS・COLLECTION

〒600-8103
京都市下京区五条通堺町東入塩竈町374 TEL:075-352-3905

第94回天皇杯・第85回皇后杯 全日本バスケットボール選手権大会

～1次ラウンド～

2018年9月15～17日、岐阜メモリアルセンターで愛・ふれ愛ドームで1次大会が開催されました。

京都府代表の男子：京都産業大学、女子：京都精華学園高校が出場しました。

京都精華学園高校は愛知学泉大学に破れましたが、京都産業大学は常葉大学、大阪学院大学に勝ち2次ラウンドへ進出しました。

【男子】

1回戦

京都産業大学 94－76 常葉大学
ブロック決勝

京都産業大学 75－60 大阪学院大学

【女子】

1回戦

京都精華学園高校 69－89 愛知学泉大学

～2次ラウンド～

12月1・2日、島津アリーナ京都で2次ラウンドを開催しました。2次ラウンドから出場するB1リーグの京都ハンナリーズは天理大学と、京都産業大学はレバンガ北海道と1回戦を行いました。

京都産業大学はB1リーグのレバンガ北海道に健闘したものの敗退しました。

京都ハンナリーズは天理大学に勝ち、ファイナルラウンド進出を掛けレバンガ北海道と対戦、第4クォーターに逆転し出場権を得ました。



©KYOTO HANNARYZ/KBA

【男子】

1 回戦

京都産業大学 60-87 レバンガ北海道

京都ハンナリーズ 86-68 天理大学

ブロック決勝

京都ハンナリーズ 89-83 レバンガ北海道

～ファイナルラウンド～

2019年1月10～13日、さいたまスーパーアリーナで2次ラウンドを勝ち抜いた8チームによるファイナルラウンドが開催されました。



©KYOTO HANNARYZ/KBA

京都ハンナリーズは、1回戦大阪エヴェッサと対戦し徹底したデフェンスで相手の得点を抑え、準決勝に進出しました。

前回逃した決勝進出を目指し栃木ブレックスと対戦しました。第1Q、7点差を付けられましたが、第2Q第3Q挽回し、第4Q始めに2点差まで追い上げ拮抗したゲーム展開が続いたものの、徐々に点差を広げられ決勝進出を逃しました。

天皇杯・皇后杯の競技方法が変更された前回から2年連続で3位の成績を残したことは大いに賞賛されることで、今後B1リーグチャンピオンシップ進出へむけて大いに期待できます。皆さんの応援をよろしくお願いします。

1 回戦

京都ハンナリーズ 69-51 大阪エヴェッサ

準決勝

京都ハンナリーズ 62-71 栃木ブレックス



©KYOTO HANNARYZ/KBA

国体が変わります！

2019年から国体が変革されます。

「少年の部」が現在の高校生（U18）から高校1年生を主体とした「U16」の選手で構成されるチームで出場します。

京都府の少年男子チームは、従来全国屈指の強豪である東山高校と洛南高校を中心とした選抜チームで大活躍してきました。2019年度からは、全く異なったチーム作りが求められ、現在、協会強化部とUカテゴリー総括部を中心に取り組み、強化方針を検討しております。

また、従来、成年・少年ともに近畿ブロックからは1チームのみが本国体の出場権を与えられてきましたが、次年度からはこの数も見直されます。なお、全都道府県が出場できた種別の輪番制は廃止されます。

補正予算

2018年10月27日常任理事会に於いて補正予算が承認されました。

<補正額>

(単位千円)

収入の部	前年度繰越金増	1, 198
	補助金収入増	500
	賛助会員会費増	500
	クラブ連盟解散時残余金	521

支出の部	事業費増	1, 121
	予備費増	1, 598

計報

当協会参与の岡實様が2018年11月7日に逝去されました。(享年78歳)

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。